

技術者として社会から必要とされる人材とは？ －被災地・岩手県陸前高田市での挑戦－

全学科学部3年生及び修士1年生の皆さん 大学生活の終盤を迎えて、就活の準備を進めている皆さんにとって、新型コロナという未曾有の社会危機の直撃を受け、大変な不安を抱えていることと思います。

アフターコロナの働き方について、研究開発の最前線で活躍されている精密OBをお招きし、学部3年生および修士1年生を対象に技術者視点で事例を挙げながら、皆さんのこれからの就職活動の参考となるご講演をして頂きます。貴重な機会ですので、奮ってご参加ください。

実施日	時間	対象学科	会場
2022年 9月30日(金)	1限(9時00分ー10時40分)	精密他・全学科	5534号室

講演者	小出浩平（1987年度卒, 89年大学院修了） 陸前高田しみんエネルギー(株)代表取締役 兼 戸田建設(株)顧問、日本ガイシ(株)顧問 など
メッセージ	『学生の皆さんにお話をする機会を頂き感謝しています。 精密修了後、戸田建設でバイオクリンルームエンジニアとして従事、求められミスミでサプライチェーン改革を担い、再び求められワタミグループで環境事業を立上げ、社長を務めました。 震災後、陸前高田市長から求められ、市と共同出資でエネルギー会社を立上げ、地域活性化や脱炭素にチャレンジしています。 求められる時の殺し文句が「 良き社会を作しましょう！ 」。これから技術者に求められる素養は、社会課題に立ち向かおうとするマインドです。そのような話をしますので、他学科の方も奮ってご参加ください。』



講演後に質問タイムもあり、聞きながら考えておいてください